

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒業  
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

長者ヶ岳－富士山と朝霧高原の展望台－



田貫湖休暇村から仰ぐ長者ヶ岳

10月も下旬半ば、富士山西麓の山・長者ヶ岳(1336m)・天子ヶ岳(1330m)に出かけた。

前日、富士山から一緒に下りて来た地元の友人に車で送ってもらい、田貫湖キャンプ場にテントを張った。地元の山仲間、長者ヶ岳など富士山周辺の低山歩きにはあまり興味がない模様。

前日までの疲れですっかり寝坊して、朝6時15分出発で長者ヶ岳に向かう。田貫湖を巡るサイクリングロードを歩いて6時半、長者ヶ岳登山口。この登山路は東海自然歩道として良く整備されている。檜林の中の尾根道は、木段がしっかり整備され、随所に野外卓が設けられている。見下ろすと田貫湖の全景が開け、振り返ると富士山が大きい。



登路途次に見下ろす田貫湖

8時頃には傾斜も緩くなり檜林も終り、雑木林を幅広く伐り



長者ヶ岳山頂

開けた明るい尾根道となり8時45分、長者ヶ岳山頂に到着した。

山頂の野外卓の真正面に、大沢崩れも生々しい富士山が視界を押し、眼下には朝霧高原が大きく広がって見えた。振り返ると、南アルプスが靄に霞んでいるのが残念。



長者ヶ岳山頂からの富士山

のんびり休憩の後、天子ヶ岳へ向かう。雑木の中の尾根道を南へ15分程下ると上佐野分岐のコル。そのまま尾根道を直進し、ちょっとした急坂を登り詰め、9時40分天子ヶ岳山頂。

でも山頂の標識のある地点は何ということもない樹林の中。そこから30m程先の一段低い所が広場になっていて石祠があったり、名物のヨウラクツツジの説明板があったりする。更にその東側20m程先が伐り開けられて展望台になっていて、富士山が真正面に望め、眼下には「花鳥山脈」とかいう休業中の施設が箱庭のように見えた。

10時天子ヶ岳を後にし、白糸ノ滝に向け下る。見通しのない林の中を標識に従い、ただただ下る。それにしても、この下りは長い。

11時半、ようやく舗装された林道に出て、後はひたすらテクテク歩き、やっと12時45分、白糸ノ滝到着。

白糸ノ滝はちょうど紅葉が真っ盛り。大勢の観光客に混ざって、ババッチイヤマヤ姿の我が輩も、人並みの紅葉見物を楽しんだ。



紅葉の白糸ノ滝